



全ての児童生徒に安心できる学びの場を

令和7年 2月

1

どこに相談したらいいの？～相談窓口～

宗像市では、「支援が必要な子供たちが学びにつながれるようにすること」「全ての学校を誰もが安心して学べる場」にすることを推進しています。
相談窓口の一覧は、右のQRコードよりご確認ください。



2

お子さんに合った支援はどのように選べばいいの？～連携体制～



(児童生徒)

悩みや不安がない。
毎日学校に登校する
ことができている。

支援の内容
(学校との連携)

引き続き ご家庭での見守り ご支援をお願いします。
気になることがあるときは 学校(または担任)に ご相談ください。



何か悩みや不安を
抱えている。
不定期に学校を
休んでいる。
休みがちである。
遅刻しがちである。



B 「チーム学校」として支援を進めます。お子さんの状況や要望等を学校(担任や
養護教諭等)にお伝えください。お子さんに合った具体的な支援の在り方を検討します。



安心できる
【人(窓口】
・担任
・養護教諭
・その他
【場所】
・教室
・別室
・その他
【学び方】
・内容(易しい → 難しい)
・人数(多い → 少ない)
・教材(ICT → 紙媒体)

※学校によって支援体制は異なりますが、お子さんの状況
や要望を踏まえて適切な支援体制づくりに努めます。



悩みや不安を
抱えている。
継続的に
学校を休んでいる。



学校は「チーム」として不登校支援に取り組んでいます。生徒支援委員会(学校で
名称は異なる)では、学校の教職員及び市のSSW(スクールソーシャルワーカー)
やSC(スクールカウンセラー)等の関係者と連携し、適切な支援の在り方を検討し
ます。必要に応じて、以下の関係施設との連携も図ります。



C 「学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境」として、
宗像市では、以下のような学びの場があります。
お子さんの状況や要望等を踏まえて、利用をご検討ください。
※検討される際には、学校(担任や養護教諭等)にご連絡ください。

自分で学習を進め
学校復帰を目指したい教育サポート室
エール

開設 平成10年7月

特徴 教科学習、体験学習 ほか

開室日 原則、学校に準ずる

連絡先 0940-36-8303

学校復帰よりも自己肯定感や
自立性・社会性を育みたい子どもの自立サポートセンター
ホープ

開設 令和5年4月

特徴 安心して過ごせる居場所、
各種体験活動 ほか

開所日 月～金曜日

連絡先 0940-39-3102

家から一步踏み出す
「出場所」を体验したい玄海の家
Chot GKI

開始 令和5年9月

特徴 外に出るきっかけ
づくり、自然体験
活動 ほか

開所日 火～金曜日

連絡先 0940-62-2511

家に来て支援をしてほしい
安心できる場所で支援を考えたい家庭訪問
相談指導員派遣エール・ホープに通うことが
できない児童生徒及びその
保護者に対する支援宗像市 子育て・教育
サイト「むむハグ。」
Childcare and
Education

民間の施設で学びたい

民間施設(フリースクール)等
フレンドシップ登録団体当該施設 学校、家庭との十分な連携
体制等を確認し、継続的に支援

3

進学先はどのようなところがあるの？～進路選択～

福岡県立高校では、様々な学びの場が準備されています。以下に示す学校の詳細は、
福岡県のHPに掲載されています。お子さんに合った進学先をご検討ください。

全日制高校

定時制高校(昼間定時)

通信制高校(博多青松高校等)

定時制高校(夜間定時)

学びの多様化学校

